

科目名		キャリアデザインⅡ			
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	なし		
対象学科	全科	対象学年	2、3年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	130
授業概要、目的、授業の進め方	社会人になる前の心と体の準備を行う。自身の将来を考え、企業でどのように活躍していきたいかなど考える。目標を立て、そこに向かって学生時代に行うことができることを精一杯行う。				
学習目標 (到達目標)	最終学年としての自覚を持ち、社会人としての人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スタディサプリ、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～6	学校生活のルールを改めて理解する。新しいクラスの友人とコミュニケーションを図る				
7～18	就職活動の進捗状況を担任と確認する 内定者は、次の目標について考える				
19～30	自分を理解し、今後のキャリアデザインを考える				
31～40	1年生との交流を図る。				
41～46	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
47～52	様々なイベントをお互いに見学しあい、刺激しあう。 それを自身のイベントに活かす。				
53～64	卒業制作に向けての準備を行う				
65～70	前期を振り返る。最後の学生生活であることを意識する。				
71～74	後期の動機付け、後期目標設定、シート記入				
75～78	卒業までの残りを実感し、何をすべきか考える				
79～82	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
83～86	学年イベント（祭事を知る）				
87～90	進級制作リハーサル見学				
91～100	卒業制作に向けての準備を行う				
100～125	年明けのスケジュール確認				
126～128	クラス交流				
129～130	学生生活の振り返り、まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲（授業態度）50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			社会人になるまであと1年もないということを自覚して、後悔のないように1回1回を大切に考えながら進めること。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅰ				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	2、3年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1. 社会人・職業人として大切な心構えと習得しておくべき基礎能力を習得する。 2. 過去問題を多用し、試験内容を解く上でのテクニックも学習する。				
学習目標 (到達目標)	ビジネス能力検定 ジョブパス2級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ビジネス能力検定ジョブパス2級 テキスト・問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	検定取得の意義 ビジネス用語の習得		講義 課題		
3 4	2-1 仕事の進め方		講義 確認問題（問題集にて）		
5 6	2-2 ビジネス文書の基本		講義 確認問題（問題集にて）		
7 8	2-3 統計・データのまとめ方		講義 確認問題（問題集にて）		
9 10	2-4 情報収集とメディアの活用		講義 確認問題（問題集にて）		
11 12	2-5 会社数字の読み方		講義 確認問題（問題集にて）		
13 14	2-6 ビジネスと法律・税金知識		講義 確認問題（問題集にて）		
15 16	2-7 産業と経済の基礎知識		講義 確認問題（問題集にて）		
17 18	過去問題 3-1		小テスト		
19 20	過去問題 3-2		小テスト		
21 22	過去問題 3-3		小テスト		
23 24	過去問題 3-4		小テスト		
25	検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20%					
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			模擬問題を受けた後、出来ていない問題を中心に復習を行うようにすること。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ビジネス実務Ⅱ			
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×		
対象学科	全科	対象学年	卒年次	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>1. 実社会での仕事は、自分自身、社会の人、お客様、取引先といった周囲の人と関わりの中で進んでいることを認識する為、ビジネスマナーを習得する。</p> <p>2. 机上の学習だけでなくロールプレイングを多用し、日常生活でも実践できるよう図る。</p>				
学習目標 (到達目標)	会社組織のしくみと人間関係、来客対応、電話対応、訪問のマナー				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人としての心構え 職場での基本的マナー 職場の人間関係		講義 グループワーク		
2	来客対応：接遇の意義と重要性 受付対応の基本用語 刺の受け取り方		講義 ロールプレイング		
3	案内の要領：廊下 エレベーター 応接		講義 ロールプレイング		
4	お茶の出し方 見送り 応接の管理		講義 小テスト		
5	電話対応：注意点 受け方の基本 電話対応基本用語		講義 ロールプレイング		
6	対応電話：伝言メモの作成 電話のかけ方		講義 ロールプレイング		
7	電話対応テスト		ロールプレイング形式		
8	訪問のマナー：訪問の準備 交通手段に関する知識 接室でのマナー		講義 ロールプレイング		
9	自宅への訪問の心構え テスト準備		講義		
10	まとめテスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
模擬試験70%、学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			各自ロールプレイングを何度も行うことで、体得するよう心掛ける。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	業界セミナー				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○		
対象学科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	第一線で活躍している業界人からの講演会				
学習目標 (到達目標)	自分の目標を定める。視野を広げる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新入生、進級生別自己啓発講演会		プロジェクター、振り返りシート		
2					
3					
4	学科、コース別一流業界人講演会		プロジェクター、振り返りシート		
5					
6					
7	全校統一講演会 未来を考える		プロジェクター、振り返りシート		
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			普段会えない人の話を聴き、視野を広げましょう。		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅱ				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	2・3年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	社会人へでの準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	パート3 マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する			個人作業・グループディスカッション	
2	パート3 マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう			個人作業・グループディスカッション	
3	パート3 マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは			個人作業・グループディスカッション	
4	パート3 マジックドア4 将来を描いてみよう			個人作業・グループディスカッション	
5	パート3 マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう			個人作業・グループディスカッション	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
出席率80% 授業態度20%				就職直後、数年後、未来・・・の目標を描かせることで、ポジティブな気持ちを継続させる。	
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	卒年次生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース検索のスキルを学び、E X C E L 検定初級を受検する。				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ E X C E L 2 0 1 6 クイックマスター基本編 エクセル文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2 3	エクセルの基本 データの編集 表の編集		実習		
4 5 6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		実習		
7 8 9	関数 データベース機能		実習		
10 11 12	練習問題 1		実習		
13 14 15	練習問題 2 3		実習		
16 17 18	模擬問題 1 2		実習		
19 20 21	模擬問題 3 4		実習		
22 23 24	模擬問題 5 6		実習		
25 26	模擬問題 7 苦手箇所の練習		実習		
27 28	サンプル問題 事前対策		実習		
29 30	エクセル検定3級受検				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースII				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	105
授業概要、目的、授業の進め方	1、模擬葬儀イベントを通じて、学生の交流を図る 企業連携（業界の課題や現在の取り組みを知り、業界発展の提案を実施する） 2、				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で葬祭分野の発表を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1~6	オリエンテーション～イベント内容を知る				
7~14	模擬葬儀の故人の設定、遺影写真、祭壇デザイン決める				
15~20	司会台本・納棺手順（台本）作成				
21~30	イベントリハーサル				
30 31	イベント振り返り				
32~45	企画書作成				
46~65	シナリオ、台本、パワポ、ペーパー作成				
66~80	企画書/シナリオ、台本、パワポ、ペーパー 完成させる				
81~97	プレゼンテーション練習				
98~102	プレゼンテーション本番				
103~105	振り返り～お礼状送付				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			模擬葬儀では、企画力や実行力・チームコミュニケーション力を学ぶことを目的とする。企業連携イベントでは、現在の企業の課題や取り組みを学ぶとともに、学生ならではのアイデアや取り組みを企画・実践し、自分の成長を感じられる機会にする。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

科目名	卒業制作				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	卒年次生	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	140
授業概要、目的、授業の進め方	業界が持つ、課題等を見つけ、それに対する企画を考え、提案していく。] イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で、保護者や企業に発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	先輩方の卒業制作を見て、自分たちの姿を想像する				
3～6	自分たちの卒業制作をどうしていくか、一人ひとり考える				
7～10	卒業制作にふさわしいと思うテーマについて、グループに分かれて考える				
11～14	各グループごとに、テーマにふさわしいと思う内容をパワポで発表する。卒業制作のテーマの希望を取る				
15～18	卒業制作のテーマと新グループを発表し、これからのスケジュールを伝える				
19～22	各グループで、テーマに沿った現状や取り組みを調査する				
23～26	各グループで、調査した現状をふまえ、企画を考える				
27～30	第1回 企画発表会+報告書チェック				
31～34	発表内容と報告書の修正				
35～38	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う				
39～42	第2回 企画発表会+報告書チェック				
43～46	発表内容と報告書の修正② 実行委員は招待状+招待客リストアップ、タイトルとロゴ作成				
47～50	中間発表会の準備 (台本+パワポ)				
51～54	中間発表会 (各グループの発表内容を共有する)				
55～58	年明けのスケジュールや進め方 (新グループ、メンバー) を全体で共有する				
59～62	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する				
63～66	当日の発表に必要な台本+パワポを作成する				
67～70	当日の会場で、本番のイメージをつかむ				
71～74	台本+パワポの修正。完成。				
75～78	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ				
79～84	全体リハーサルの準備を始める (台本とパワポのタイミングを合わせる)				

85～90	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う（前後のつながりを考える）	
91～96	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ	
97～102	全体リハーサルの準備を行う（聞いている人に伝わる話し方を意識しよう）	
103～120	全体リハーサル（本番をイメージしながら）	
120～125	1年生本番→振り返り、修正	
126～131	新入生本番→振り返り、修正	
132～137	企業、保護者本番	
138～140	振り返り（個人シート、グループ、実行委員他）	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
<p>卒制実施30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>		<p>業界の現状を調査し、課題を見つけ、それに対する提案を考えていきます。学生ならではの視点を重視し、実現可能かどうかも含めて、大人の意見を聞きながら進めていきます。自分たちの考えをまとめ、発信し、業界をよりよくするための発表を行います。</p>
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。	

科目名		葬儀概論Ⅱ			
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	135
授業概要、目的、授業の進め方	1、葬祭業についての基礎知識（葬儀の意味、歴史、宗教、葬送儀礼、法規税務）を学ぶ。 2、テキストや検定の過去問題を使用し習得する				
学習目標（到達目標）	目指す業界人の姿を明確にする				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査過去問題集2020				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	オリエンテーション 2年次の目標とスケジュールを知る	オンライン（ZOOM活用）にて			
3 4	葬祭ディレクター合同授業	1年生と2年生合同【自己紹介】			
5 6	【第1章 葬儀の意味】 葬儀の役割と意味	テキスト葬儀概論P10～15			
7 8	【第1章 葬儀の意味】 葬式の抱える環境ほか	テキスト葬儀概論P16～19			
9 10	【第2章 葬儀の歴史】 死と葬送の歴史年表（葬儀の発生～告別式誕生）	テキスト葬儀概論P22～P27			
11 12	【第2章 葬儀の歴史】 死と葬送の歴史年表（明治～東日本大震災）	テキスト葬儀概論P28～P36			
13 14	【第2章 葬儀の歴史】 葬儀の起源～浄土教の世界	テキスト葬儀概論P37～P48			
15 16	【第2章 葬儀の歴史】 鎌倉・室町時代の葬儀～明治維新と神仏分離	テキスト葬儀概論P48～P58			
17 18	【第2章 葬儀の歴史】 近世・近代の火葬の歴史～戦前までの葬儀	テキスト葬儀概論P58～P65			
19 20	【第2章 葬儀の歴史】 戦後の葬儀～現在の葬儀事情	テキスト葬儀概論P65～P78			
21 22	【第3章 死とその環境】 死の環境～死の判定と死因調査	テキスト葬儀概論P82～P91			
23 24	【第3章 死とその環境】 遺体と公衆衛生	テキスト葬儀概論P91～P98			
25 26	【第6章 社葬・団体葬】 社葬の位置づけ～社葬の知識	テキスト葬儀概論P236～P242			
27 28	【第6章 社葬・団体葬】 社葬の知識～社葬の設営と運営	テキスト葬儀概論P243～P250			
29 30	【第7章 日本の宗教の概要】 日本の宗教団体概要～神道、仏教、キリスト教、諸教	テキスト葬儀概論P252～P262			
31 32	【第8章 宗教儀礼】 神葬祭～天台宗～真言宗	テキスト葬儀概論P264～P273			
33 34	【第8章 宗教儀礼】 浄土宗～浄土真宗	テキスト葬儀概論P273～P281			
35 36	【第8章 宗教儀礼】 臨済宗～曹洞宗～日蓮宗	テキスト葬儀概論P282～P290			
37 38	【第8章 宗教儀礼】 カトリック～プロテスタント	テキスト葬儀概論P290～P299			
39 40	【第8章 宗教儀礼】 天理教～金光教～友人葬	テキスト葬儀概論P299～P307			
41 42	【第10章 関連法規とその解説】 墓地、埋葬等に関する法律～感染症法～胎児法～医師法	テキスト葬儀概論P328～P331			
43 44	【第10章 関連法規とその解説】 戸籍法～軽犯罪法～刑法～刑事訴訟法～死体解剖保存法～敬体法	テキスト葬儀概論P331～P335			
45 46	【第10章 関連法規とその解説】 警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査に関する法律～行状書人及び行状死に取扱法～臓器移植法～貨物自動車運送事業法～生活保護法～劇団販売法	テキスト葬儀概論P335～P339			
47 48	【第10章 関連法規とその解説】 民法～消費者保護法～景品表示法	テキスト葬儀概論P339～P341			
49 50	確認テスト～振り返り				
51～58	業界研究～オンライン葬儀の取り組み				
59～66	業界研究～グリーンケアの取り組み				
67～74	業界研究～葬儀社の営業戦略について				
75～82	業界研究～消費者の終活に関する取り組み				
83～90	業界研究～樹木葬、海洋葬の現状				
91～98	業界研究～仏壇・墓石・手元供養について				
99～106	業界研究～ペット葬儀の現状				
107～114	業界研究～遺品整理、孤独死について				
115～122	業界研究～異業種からの参入				
123～133	卒業論文（テーマ決め～課題抽出～論文作成）				
134 135	振り返り～レポート記入				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度25%、論文内容50%、学習意欲25%		葬儀概論単体ではなくイベントプロデュースと関連して行う必要があり、イベントで発表する準備期間にもなる。業界研究のために自ら企業に連絡してアポをとるなど、社会ですぐ実践するビジネススマナーにも取り組む。			
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

科目名						葬祭ディレクター検定対策講座						
担当教員		馬場 秀憲			実務授業の有無		○					
対象学科		葬祭ディレクター		対象学年		2年生		開講時期		前期		
必修・選択		必修		単位数				時間数		55		
授業概要、目的、授業の進め方		1、検定に合格できる力をつける 題を用意し夏季休暇中も取り組みを継続する 勤と連携し、検定本番を想定した練習を実施する						2、宿 3、非常				
学習目標 (到達目標)		検定合格										
テキスト・教材・参考図書・その他資料		増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査過去問題集2020										
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考						
1	2	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2019～解説					
3	4	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2018～解説					
5	6	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 実技筆記2019～解説					
7	8	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 実技筆記2018～解説					
9	10	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2017～解説					
11	12	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2016～解説					
13	14	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2015～解説					
15	16	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 実技筆記2017～解説					
17	18	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 2014～解説					
19	20	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 実技筆記2016～解説					
21	22	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 2013～解説					
23	24	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 2012～解説					
25	26	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 実技筆記2015～解説					
27	28	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 2011～解説					
29	30	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 2010～解説					
31	32	自分の実力を知る～夏季休暇中の課題配布					確認テスト					
33	34	学科試験対策					オリジナル問題(宗教)～解説					
35	36	実技試験対策					検定課題 接遇・司会					
37	38	実技試験対策					検定課題 幕張					
39	40	学科試験対策					オリジナル問題①～解説					
41	42	学科試験対策					オリジナル問題(歴史)～解説					
43	44	実技試験対策					検定課題 接遇・司会					
45	46	学科試験対策					オリジナル問題(法規)～解説					
47	48	実技試験対策					検定課題 幕張					
49	50	学科試験対策					オリジナル問題②～解説					
51	52	実技試験対策					検定課題 接遇・司会					
53	54	実技試験対策					検定課題 幕張					
55	確認テスト					検定課題 模擬テスト						
評価方法・成績評価基準						履修上の注意						
授業態度20%、検定結果80%						学科試験・実技試験それぞれの全員合格を目指す。検定直前では特別講義として非常勤と連携する。可能であれば企業のスタッフと一緒に学ぶ機会をつくる。						
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった										

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	祭壇設営・幕張				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○		
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	40
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定課題であるテーブル幕張の課題を覚え、実践できる 2、制限時間内に課題をクリアできる				
学習目標 (到達目標)	検定課題の合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ポンチ（葬儀用の幕）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1年生で学んだことを振り返る				
2	試験課題(テーブル装飾)の要点を理解する		検定の要項を見て確認する		
3～10	テーブル装飾のやり方を覚える		幕張の実習を行う		
11～16	テーブル装飾の練習(タイムを計る)				
17～22	テーブル装飾練習(目標9分以内)				
23～30	テーブル装飾練習(目標8分以内)				
31～34	テーブル装飾練習(目標7分台以内)				
35～38	テーブル装飾練習(7分以内)				
39～40	テーブル装飾 7分以内でテスト実施				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度20%、確認テスト結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			検定課題を中心に取り組む。制限時間だけを意識するのではなく、完成したもの(出来栄)で採点されるため、丁寧に取り組むよう指導が必要。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で8年間携わった				

科目名		司会実習			
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○		
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定課題である司会の課題を覚え、実践できる 2、制限時間内に課題をクリアできる				
学習目標 (到達目標)	検定課題の合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査 過去問題集2020				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	授業の目的・内容の説明				
2	検定課題の司会のポイントや内容を覚える	検定の要項を見て確認する			
3	葬儀における司会の目的を知る	葬儀概論 P141～142			
4	葬儀における司会の役割を知る	葬儀概論 P143～144			
5	検定課題(司会)の例題を実際にやってみる				
6	検定課題(司会)のセリフや流れを覚える				
7	検定課題(司会)のセリフや流れを覚える				
8	検定課題(司会)の時間を計ってみる				
9	検定課題(司会)の時間を計ってみる				
10	検定課題(司会)の過去問題2005年、平成14年を実施し問題に慣れる				
11	検定課題(司会)の過去問題平成15年、16年を実施し問題に慣れる				
12	検定課題(司会)の過去問題2005年を実施し問題に慣れる				
13	検定課題(司会)の過去問題2009年、2010年を実施し問題に慣れる				
14	検定課題(司会)の過去問題2006年、2007年を実施し問題に慣れる				
15	検定課題(司会)の過去問題2008年を実施し、4分以内で完成する				
16	検定課題(司会)の過去問題2011年を実施し、4分以内で完成する				
17	検定課題(司会)の過去問題2012年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する				
18	検定課題(司会)の過去問題2013年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する				
19	本番の雰囲気検定課題(司会)のオリジナル問題を実施し、本番のイメージを持つとともに4分以内で完成する				
20	本番の雰囲気検定課題(接遇・司会)を続けて実施し、本番のイメージを持つとともに4分以内で完成する				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度20%、検定結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		検定課題を中心に取り組む。制限時間内に終了することと同時に、葬儀の司会者として丁寧な話し方が必要となる。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で8年間携わっている				

②

科目名	接遇・受注（受注施行）				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定課題である接遇の課題を覚え、実践できる 2、制限時間内に課題をクリアできる				
学習目標（到達目標）	検定課題の合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査 過去問題集2020				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的・内容の説明				
2	検定課題の司会のポイントを知る		検定の要項を見て確認する		
3	接遇対応（電話での対応）を実践し、遺族と葬儀社のやり取りのイメージを持つ				
4	接遇対応（病院・自宅での応答）を実践し、遺族と葬儀社のやり取りのイメージを持つ				
5	接遇対応（病院・自宅での応答）を覚えて実践できる				
6	接遇対応（遺体の搬送安置）を実践し、イメージを持つ				
7	家族葬と一般葬の違いを知る				
8	葬儀の実際のやり取りを聞き、自分が担当するときのイメージを持つ				
9	検定課題（接遇）の例題を実際にやって傾向を知る				
10	検定課題（接遇）の過去問題（2005年）を実際に行い、文章の作り方を覚える				
11	検定課題（接遇）の過去問題（2006年）を実際に行い、文章の作り方を覚える				
12	検定課題（接遇）の過去問題（2005年）を実際に行い、文章の作り方を覚える				
13	検定課題（接遇）の過去問題（2006年）を実際に行い、文章の作り方を覚える				
14	検定課題（接遇）の過去問題（2007年）を使用し、2分間の感覚をつかむ				
15	検定課題（接遇）の過去問題（2008年）を実践する				
16	検定課題（接遇）の過去問題（2009年）を実践する				
17	検定課題（接遇）の過去問題（2010年）を実践する				
18	検定課題（接遇）の過去問題（2011年）を実践する				
19	検定課題（接遇）の過去問題（2012年）を実施し、2分以内で完了する				
20	検定課題（接遇）の過去問題（2013年）を実施し、2分以内で完了する				
21	検定課題（接遇）の過去問題（2014年）を実施し、2分以内で完了する				
22	検定課題（接遇）の過去問題（2015年）を実施し、2分以内で完了する				
23	検定課題（接遇・司会2016年）を通して実施し、本番の流れを覚える				
24	検定課題（接遇・司会2017年）を通して実施し、本番の流れを覚える				
25	検定課題（接遇・司会2018年）を通して実施し、本番の流れを覚える				
26	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える				
27	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する				
28	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する				
29	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する				
30	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度20%、検定結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		導入では、葬儀のケーススタディから遺族の状況を知り、どう接していくかを想像しながら学ばせる。検定課題を中心に取り組み、時間内に課題を終了するだけでなく、丁寧な対応を身につけることが目的。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

科目名		公衆衛生学・納棺師				
担当教員		馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科		葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択		必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方		1、ご遺体の変化や感染症について知る ご遺体の処置（死装束）への着せ替えを覚える				2、
学習目標 (到達目標)		一人で着せ替えができるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		増補四訂葬儀概論 遺体管理の技術と知識				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	なぜ葬儀従事者に遺体処置や納棺の知識が必要なのかを知る					
2	死化粧が遺族にもたらす影響を知る					
3	葬儀における湯灌・納棺の種類や目的を知る					
4	儀式としての湯灌・納棺の意味を知る					
5	副葬品について学ぶ					
6	湯灌・納棺の流れを覚える					
7	湯灌・納棺の口上を覚える					
8	死化粧（あざ消し、シミ消し）のやり方を学ぶ①					
9	死化粧（あざ消し、シミ消し）をやり方を覚える					
10	死化粧（あざ消し、シミ消し）を実践できる					
11	遺体の状況を知るための方法を学ぶ					
12	遺体の確認ポイントを知り覚える					
13	遺体の状態や変化を学ぶ①（変色について）					
14	遺体の状態や変化を学ぶ②（漏出、むくみ）					
15	遺体の状態や変化を学ぶ③（スキンスリップ、腐敗）					
16	遺体の状態や変化を学ぶ④（皮下気腫、ガス）					
17	看護行為に起因する遺体の悪化状況を知る					
18	遺体の処置の目的や方法を学ぶ①（出血、点滴痕）					
19	遺体の処置の目的や方法を学ぶ②（腐敗、損傷）					
20～23	死化粧を実践し、やり方を覚える（ペアになってお互いにメイク）					
24～29	着せ替えの仕方を実践で覚える（2人でペア）					
30	確認テスト（一人で着せ替えを行う）					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
授業態度20%、確認テスト80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				前半の座学で学んだことを、後半の実習で体系的に身につけるため、集中して取り組むこと。男子と女子の人数によって実習のパターンや回数が変わることがある。		
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場で8年間携わっている				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬祭フラワー				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○		
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1、フラワーアレンジメントの基礎知識を学び、墓花や仏花・祭壇生花の設営の仕方を実践で学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	祭壇生花のデザインを考え、実際に飾ってみる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～2	墓花・仏花を作成してみる				
3～6	生花のアレンジを作成してみる				
7～15	菊と生花で祭壇を制作	2チームに分かれる			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		生花を扱うため、教室のにおいや汚れが残らないように片付けをきちんとさせる。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

科目名	葬祭マーケティング論				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、マーケティングの基本概念や考え方を学ぶ。 2、葬祭業界の歴史や変遷を知る 3、プレゼンテーション・ディスカッションを通して問題の発見・解決する能力を身につける				
学習目標 (到達目標)	相手に伝わるように、自分の意見が発表できるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	オリエンテーション～授業の目的を知る				
3 4	マーケティングの概念を知る		事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
5 6	マーケティングの差別化について知る		事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
7 8	4つのステップについて①細分化		事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
9 10	4つのステップについて②ターゲットの特化		事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
11 12	4つのステップについて③マーケティングミックス		事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
13 14	4つのステップについて④検証と学習		事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
15 16	製品ライフサイクルの考え方を知る		事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
17 18	葬祭業についておけるライフサイクルを知る		事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
19 20	ブランドづくりについて知る		事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
21 22	葬祭業におけるブランドを知る		事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
23 24	葬祭事業者の種類について知る		事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
25 26	葬祭事業者のそれぞれの取り組みを知る		事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
27 28	顧客との長期的なつながりをつくる事例を知る		事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
29 30	レポート作成				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ディスカッションへの貢献度30% 課題発表提出40% 最終レポート30% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			毎回授業で一人ひとり発表するため、事前の準備を怠らないようにする。発表はパワーポイントを使用し、画像やデータを取り入れる。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				